

作業手順書（ノンスリップ／階段すべり止め工事）

作業内容		投げ込みヒーター		
作業人員	1名			
使用機械	投げ込みヒーター			
使用道具	スチール製バケツ・水			
使用材料	レール(台座)・タイヤ(ノンスリップ)			
保護具	ヘルメット・保護メガネ			
資格				
特記事項	消火器、消火バケツ、防災シート、スパッタシート、施工付近に用意			
	弊社使用投げ込みヒーターはサーモスタット(温度調節)・空炊き防止機能付			
作業	番号	作業手順	安全ポイント(急所)	危険有害要因
準備	1	器具の確認	コードの断線 ヒーター部の破損	感電・漏電・引火
	2	作業場所の確保・確認	階段、足元が散らかっていたら片付け 手摺のぐらつき確認	体制が崩れて寄りかかった場合の転倒落下
	3	屋外にてバケツ設置	可燃物が無いか確認 撤去出来ない場合防災シートスパッタシートを敷きその上にバケツを設置 倒れない様固定する	バケツが倒れヒーターが外へ出て可燃物を加熱火災
本作業	1	レール(台座)・実測・加工・搬入・取付	階段、足元が散らかっていたら片付け 手摺のぐらつき確認	仕上がり済みの壁等、周りに気を取られ階段を踏みはずす
	2	タイヤ(ノンスリップ)取付	タイヤ(ノンスリップ)取付	かなり固いので嵌めこみ作業時滑り転倒、落下
	3	タイヤ(ノンスリップ)を温め取付	タイヤ設置の効率化	上記危険要因軽減
	4	バケツに投げ込みヒーター適正量水を入れる／投げ込みヒーターを入れる	ヒーターの水位ラベル以上常に給水する	空炊き状態になり出火
	5	電源コードをコンセントへさす・アース接地(必ずバケツに入れてから)	濡れ手の有無確認	漏電・感電・空炊き故障・引火
	6	スイッチを入れる・温度調節	濡れ手の有無確認／80度以下に設定	故障・感電・やけど(金属部には直接触らない)
	7	タイヤ(ノンスリップ)温め加工	温められたバケツのお湯にタイヤを入れ加工しやすくなる	嵌めこみ時転倒落下の軽減 ヒーター金属部に触れやけど注意
		タイヤ(ノンスリップ)温め加工	ヒーター電源オン時その場から離れない	バケツ倒れによりヒーター飛び出し、可燃物を加熱出火
後始末	1	電源オフ・コンセントを抜く	バケツから取り出さない	電源オフ直後水から出すと空炊き状態になり故障・引火・ヒータに触れやけど
厳守事項	空炊き禁止 ヒーターオンは水入りバケツに入れてから ヒーター撤去はコンセントを抜き冷めてから			
	アース接地 水専用			